

平成 14 年 10 月 2 日、札幌パークホテルにて第 3 回北海道頭痛勉強会が開かれました。前日はあいにくの台風 20 号の直撃を受け、東日本は大荒れの天気、翌日にかなりの支障が予測されましたが、幸い当日札幌は風が強かったものの、雨も降らず出席者の出足も順調でした。205 名の皆様にご参集いただき、18:00 を 5 分ほど遅れて、まず会の特徴である協賛メーカーのファイザー製薬から、7 月に発売された新しい片頭痛治療薬「レルパックス」について 20 分ほど学術の方の説明がありました。

18:20 頃、会の顧問をお願いしている北海道大学神経内科教授の田代邦雄先生より開会のご挨拶があり、勉強会が開始されました。

まず症例報告として 2 演題が登録されており、座長は幹事持ち回りで、今回は北見が勤めました。いずれも症例報告というより、それぞれの分野での頭痛の総論のような発表で、聞かれた皆様はそのまま次の日の診療に役立つような知識を得られたのではないかと思います。

1 題目は「副鼻腔炎に伴う頭痛」という題名で、中村記念病院神経内科の佐光一也先生がご発表されました。各々の症例の治療前治療後の MRI を提示され、きれいに治癒しているのを見ますと、やはり頭痛治療においては副鼻腔炎を正しく診断し、早期治療しさえすれば患者さんを煩わしい頭痛から開放できるという実感が湧いてきました。

2 題目は「精神科領域の片頭痛の検討」という題名で、三浦メンタルクリニックの三浦 彌先生にご発表いただきました。片頭痛で精神症状を呈し、片頭痛の治療を行ったら精神症状が取れたケース、あるいはその逆に精神病の改善とともに頭痛の訴えがなくなったケースなど、非常に示唆に富む症例報告がなされました。またそれぞれのケースでレルパックスを初めとするトリプタン製剤の診断的使用の意義などにも触れられていました。今後の片頭痛治療のひとつのトピックスになりそうな領域と思われました。

座長不手際で 10 分ほど遅れて、本日のメインイベントが始まりました。台風による飛行機の遅れで 1 時間ほどご到着が遅くはなれましたが、東京から日本の頭痛研究の権威でいらっしゃる北里大学内科学神経内科教授 坂井文彦先生にお越しいただき、「片頭痛の診断と治療」という題でご講演いただきました。座長は当勉強会顧問でいらっしゃる、札幌医科大学麻酔科教授の並木昭義先生にお願いしました。初め 15 分ほどプロジェクターがうまくつながらず、幹事一同ハラハラして見守っていましたが、さすがに場馴れされている坂井先生は微塵も動ずるようすもなく、スライドなしで話を続けられました。スライドが出てからは、持ち前の話のうまさで聴衆をぐいぐいと頭痛研究の世界に引き込み、あっというまに 1 時間が過ぎてしまいました。内容は頭痛医療の EBM について、札幌には 4 万人も片頭痛患者がいるはずなのに 2.7% 程度しか病院を受診してい

ない。逆に姉妹都市であるポートランド市では 80 万人の人口のうち 36%もの片頭痛患者が病院を受診するから、人口は札幌の 1/3 なのに片頭痛患者は 3 倍いる。また最近では WHO の調査で、世界中の人が患っている病気のうち女性の 12 位、男性の 17 位に片頭痛がランクされており、WHO も頭痛研究に力を入れてきている。片頭痛の取り上げ方も **disability** として、人生の中でどれだけ片頭痛によって生活が障害されるかという見方をしてきている。その中で 2005 年にはアジアで初めて日本が国際頭痛学会の開催国に選ばれ、坂井教授が会長をするので応援して欲しいという話もされました。また来年改定される国際頭痛学会の診断基準の話もされ、特に小児の片頭痛と慢性連日性頭痛の位置付けについて詳しく述べられていました。片頭痛研究については、前兆に影響するのはセロトニンだけでなく、ノルアドやドパミンもそれなりの影響を及ぼす可能性について話されました。

講演後質問がフロアから 2 つでて、坂井先生が丁寧に答えられていました。

予定の 20 時を 30 分近く超過し、会の終了のご挨拶を当勉強会の顧問をして頂いている札幌医科大学神経内科教授の松本博之先生よりいただき、無事会を終了いたしました。今回は進行の不手際や、参加された皆様のご質問の時間を充分に取れなかったなど反省すべき点も多く、今後改善していきたいと思えます。また来年 3 月に第 4 回目を予定していますが、今回ご参加いただいた皆様に、次回もまたご参加いただけるような魅力ある勉強会を作っていきたいと幹事一同考えております。最後に恒例のアンケート集計結果を公表し、勉強会後記と致します。（北海道頭痛勉強会幹事；北見公一，田中千春，藤木直人）

頭痛勉強会アンケート集計結果

アンケート回答者 136 名（医師 34 名，看護師 30 名，薬剤師 27 名，その他 2 名，不明 43 名）

1. この会を何処で知りましたか？

ダイレクトメール 12 名（看護師 3，薬剤師 7，不明 2）

ファイザー製薬 MR 83 名（医師 30，看護師 9，薬剤師 18，不明 26）

医学雑誌 1 名（不明 1）

その他（医局・道医報）40 名（医師 4，看護師 17，薬剤師 3，その他 2，不明 14）

2. 内容はいかがでしたか？

つまらなかった 6 名（医師 2，看護師 1，不明 3）

まあまあ 38 名（医師 7，看護師 7，薬剤師 12，不明 12）

やや満足 39 名（医師 11，看護師 9，薬剤師 9，その他 1，不明 9）

とても良かった 43 名（医師 12，看護師 10，薬剤師 5，その他 1，不明 15）

※未回答 10 名

3. 今後もこの頭痛勉強会に参加したいと思われませんか？

それほど参加したいと思わない 4 名（医師 1，看護師 2，不明 1）

都合がつけば参加したい 113 名（医師 28，看護師 26，薬剤師 23，その他 1，不明 35）

ぜひ参加したいので連絡がほしい 15 名（医師 4，看護師 2，薬剤師 4，その他 1，不明 8）

※未回答 4 名

4. 一般演題はいかがでしたか？

よく分からない 8 名（医師 1，看護師 2，薬剤師 2，不明 3）

良かった 94 名（医師 21，看護師 25，薬剤師 17，その他 2，不明 29）

自分で発表する気はない 6 名（医師 3，不明 3）

要請があれば発表してみたい 1 名（医師 1）

その他 13 名（医師 5，看護師 1，薬剤師 3，不明 4）

※未回答 14 名

5. トリプタン製剤をご処方（服用）されたことは？

処方（服用）したことはない 59 名（医師 10，看護師 20，薬剤師 11，その他 2，不明 16）

たまに処方（服用）する 42 名（医師 12，看護師 3，薬剤師 12，不明 15）

良く処方（服用）する 11 名（医師 6，薬剤師 1，不明 4）

片頭痛には必ず処方（服用）する 10 名（医師 4，薬剤師 1，不明 5）

※未回答 14 名

6. 前問で処方（服用）したことがない方の理由は？

片頭痛という診断なし 16 名（医師 5，看護師 2，薬剤師 4，その他 1，不明 4）

従来薬で十分 3 名（医師 1，看護師 2）

トリプタン製剤を十分認識していない 21 名（医師 7，看護師 5，薬剤師 1，不明 8）

その他 13 名（看護師 5，薬剤師 4，その他 1，不明 3）

7. レルパックスをご処方（服用）されたことは？

処方（服用）したことはない 95 名（医師 22，看護師 23，薬剤師 20，その他 2，不明 28）

たまに処方（服用）する 18 名（医師 6，薬剤師 2，不明 10）

良く処方（服用）する 7 名（医師 4，薬剤師 3）

片頭痛には必ず処方（服用）する 1 名（医師 1）

※未回答 15 名

なお、各々の質問に対する意見が数多く寄せられましたが、ここでは割愛させていただきます。ご協力いただいた皆様方、誠にありがとうございました。この結果は次回の勉強会に反映させていただきます。